



from NEW YORK



ニューヨークの街角の店頭で見掛けた日の丸



新ワールドトレードセンタービルの建築工事現場



日本への支援を訴えるため日の丸の色に染まった
エンパイアステートビル © Empire State Building

どん底から立ち上がってくる力

ビルの18階にある私たちの事務所からは、少しずつ高さが増していく新ワールドトレードセンタービルの建築工事現場が見えます。世界中を深い衝撃と悲しみに覆ったあの9.11テロ事件からもうすぐ10年がたちます。当時の事務所は別のビルの59階にあり、その会議室から、一段と高くそびえ立つ旧ワールドトレードセンタービルを仰ぎ見ることができました。

9.11を経てこの街の何が変わったのでしょうか。素っ気なさや前面に出てくるのが減り、その代わりに、お互いを思いやり、助け合って困難を乗り越えていこうとする土壌や、コミュニティーを大切に作る姿勢が一段と強くなったようです。街並みが美化されているのもその証左でしょう。

ニューヨーカーの明日の夢に向かって努力を惜しまない姿勢、移民の街としての多様性の尊重、今あるこの瞬間を楽しもうとする意欲、こうした特徴は変わりません。それどころか、こうした強みを最大限に活かし、芸術・音楽・観光・ビジネス・スポーツなど多くの側面で引き続き今でも世界中を魅了しています。

9.11で多くの尊い人命が失われました。失われたものは甚大でしたが、絶望の底から立ち上がってくる力（resilience）もその分大きかったのです。東日本大震災の惨事を目の当たりにし、「9.11の後日本人が助けてくれたから」といって、街角に立つ募金箱に車を止めて寄付する人がいました。当地在住日本人のみならず多くのニューヨーカーが立ち上がり、義援金集めのコンサートや講演会が相次いで開催されています。「日本人ならきっと底力を発揮して、この大災害から立ち上がってくるに違いないし、それを祈る」

9.11を乗り越えてきた経験を胸に、そんなニューヨーカーの真摯な思いが伝わってきました。（日本銀行ニューヨーク事務所）